

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症情報センター：宮崎県健康増進課・宮崎県衛生環境研究所

□ 宮崎県第24週の発生動向

定点医療機関からの報告総数は 805 人（定点あたり 23.0）で、前週比 88%と減少した。

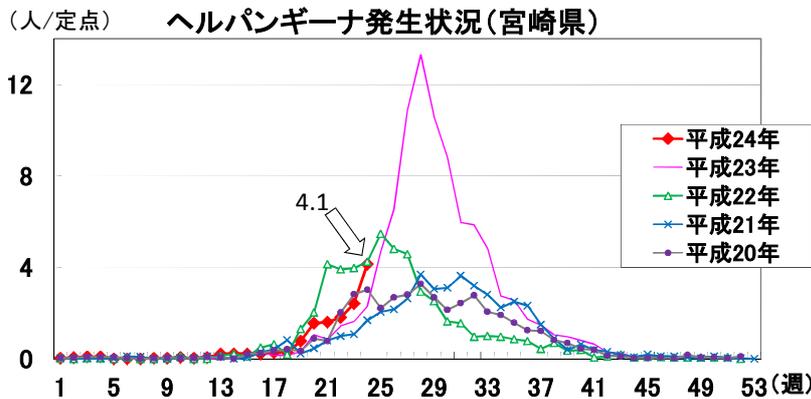
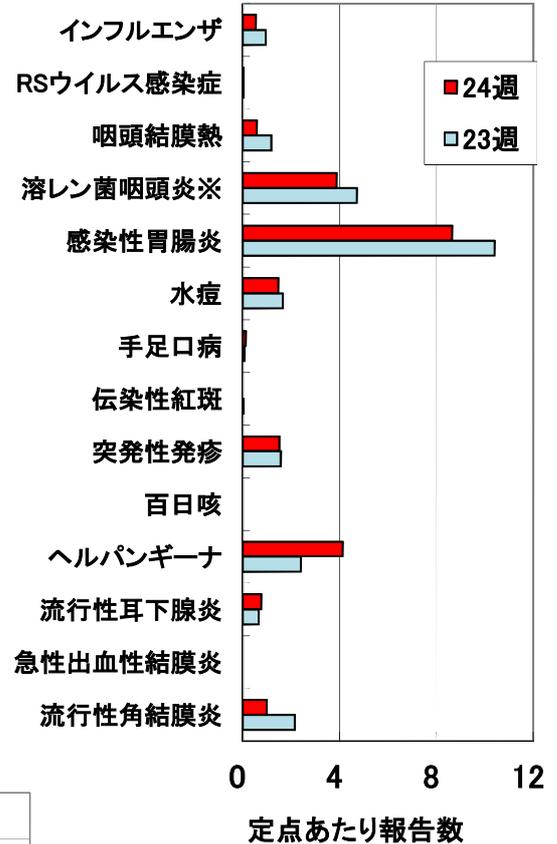
★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

前週に比べ増加した主な疾患はヘルパンギーナで、減少した主な疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎であった。

【ヘルパンギーナ】

・報告数は 149 人（4.1）で前週比 171%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値（3.3）の約 1.2 倍である。延岡（17.3）保健所からの報告が多く、年齢別では 1 歳から 4 歳で全体の約 9 割を占めた。

《前週との比較》



※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：日南（1人）保健所から報告された。患者は20歳代で、病原体は *Mycoplasma pneumoniae*。

□ 流行警報開始基準値超過疾患

保健所名	流行警報開始基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(12.5)、ヘルパンギーナ(17.3)
日南	なし
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	ヘルパンギーナ(8.0)

流行警報開始基準値：A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)
ヘルパンギーナ(6.0)

■ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症：報告なし。
- 2 類感染症：結核 6 例。
- 3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1 例。
- 4 類感染症：報告なし。
- 5 類感染症：報告なし。

	疾患名	報告保健所	年齢群	病型	症状	その他
2類	結核	宮崎市	70 歳代	肺結核	胸部異常陰影	
			70 歳代	無症状病原体保有者	—	
			80 歳代	肺結核	咳、痰、発熱	
			90 歳代	肺結核	咳、痰、発熱、呼吸困難	
		都城	60 歳代	その他の結核(結核性胸膜炎)	発熱、呼吸困難	
			80 歳代	疑似症患者	発熱	
3類	腸管出血性大腸菌感染症	日向	50 歳代	無症状病原体保有者	—	O 血清型：091VT1 産生

■ 病原体検出情報(衛生環境研究所微生物部 平成 24 年 6 月 19 日までに検出)

□ ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取日	臨床症状	材料	検出日
サポウイルス	5	女	6.01	嘔吐下痢症、下痢、嘔気・嘔吐	便	6.13

リアルタイムPCR法により検出

○嘔吐下痢症の小児からサポウイルスが検出された。サポウイルスは嘔気、嘔吐、下痢が主症状であるが、腹痛、頭痛、発熱、悪寒、筋痛、咽頭痛などを伴うこともある。本県では2009年にも胃腸炎を伴った小児から検出されている。

□ 細菌

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
腸管出血性大腸菌(O157:H7 VT2)	30代前半	男	2012.5.22	無症状	便	2012.6.7
腸管出血性大腸菌(O157:H7 VT2)	30代後半	男	2012.5.19	無症状(家族)	便	2012.6.7
腸管出血性大腸菌(O26:H11 VT1)						2012.6.12
腸管出血性大腸菌(O26:H11 VT1)	5~9	男	2012.5.23		便	2012.6.12
腸管出血性大腸菌(O157:H7 VT2)	0~4	男	2012.5.19		便	2012.6.7
<i>Staphylococcus aureus</i> コアグラージェ(+) エンテロトキシンC型(+)	0~4	男	2012.6.4	胃腸炎、血便	便	2012.6.12
<i>Salmonella</i> Manhattan(O8(O6):d:1,5)	10代前半	男	2012.6.5		便	2012.6.11

○ 無症状保菌者の家族3名からO157:H7(VT2)、O26:H11(VT1)がそれぞれ分離されている。このうち1名はO157およびO26の両方を保菌していた。感染症法における腸管出血性大腸菌の届出基準は菌の分離・同定による病原体の検出が必須であるが、すべてを釣菌し、病原因子と血清型を調べるのは困難である。このため、異なる血清型の腸管出血性大腸菌を検出するには、選択分離培地における糖分解性の違いやVT保有率など各血清型の特徴を把握しておくことが重要となる。

■ 全国第23週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は16.7で、前週比94%と減少した。今週増加した主な疾患はヘルパンギーナで、減少した主な疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎であった。

ヘルパンギーナの報告数は1,705人(0.54)で、前週比150%と増加した。三重県(3.3)、宮崎県(2.4)、熊本県(1.9)からの報告が多く、年齢別では1歳から4歳が全体の約8割を占めた。

□ 全数把握対象疾患(第23週)

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	430例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	144例				
4類感染症	E型肝炎	2例	A型肝炎	2例	つつが虫病	9例
	デング熱	2例	日本紅斑熱	5例	レジオネラ症	13例
5類感染症	アメーバ赤痢	12例	ウイルス性肝炎	2例	急性脳炎	3例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2例	後天性免疫不全症候群	19例
	ジアルジア症	2例	梅毒	9例	破傷風	2例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1例	風しん	50例	麻しん	6例

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2012年 第24週(06月11日～06月17日)

疾病名		第23週	第24週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	57	33	7	3	14			8	1		
	定点あたり	0.97	0.56	0.44	0.30	2.00	0.00	0.00	1.33	0.50	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	2	2		1		1					
	定点あたり	0.06	0.06	0.00	0.17	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	43	21	3	4	3	8				2	1
	定点あたり	1.19	0.58	0.30	0.67	0.75	2.67	0.00	0.00	0.00	0.50	1.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	170	140	18	19	50	11	6	15		13	8
	定点あたり	4.72	3.89	1.80	3.17	12.50	3.67	2.00	3.75	0.00	3.25	8.00
感染性胃腸炎	報告数	375	312	74	72	16	41	35	31	4	37	2
	定点あたり	10.42	8.67	7.40	12.00	4.00	13.67	11.67	7.75	4.00	9.25	2.00
水痘	報告数	60	53	11	6	8	1	10	6	2	9	
	定点あたり	1.67	1.47	1.10	1.00	2.00	0.33	3.33	1.50	2.00	2.25	0.00
手足口病	報告数	3	5		1	3					1	
	定点あたり	0.08	0.14	0.00	0.17	0.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
伝染性紅斑	報告数	2										
	定点あたり	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	57	55	11	10	10	5	2	11		3	3
	定点あたり	1.58	1.53	1.10	1.67	2.50	1.67	0.67	2.75	0.00	0.75	3.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	87	149	31	13	69	9	5	14		3	5
	定点あたり	2.42	4.14	3.10	2.17	17.25	3.00	1.67	3.50	0.00	0.75	5.00
流行性耳下腺炎	報告数	24	28	3	11	8			5		1	
	定点あたり	0.67	0.78	0.30	1.83	2.00	0.00	0.00	1.25	0.00	0.25	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	13	6	6								
	定点あたり	2.17	1.00	2.00	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	1	1				1					
	定点あたり	0.14	0.14	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2012年第1週～24週)

2類感染症	結核	112例(6)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	9例(1)				
4類感染症	A型肝炎	1例	つつが虫病	12例	デング熱	1例
	日本紅斑熱	4例	レジオネラ症	2例		
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	2例	急性脳炎	7例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2例	後天性免疫不全症候群	2例	梅毒	1例

()内は今週届出分、再掲